

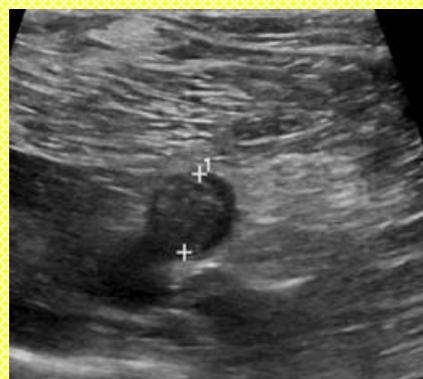
# がんと脳卒中

脳卒中科 岩永 健

「腫瘍循環器学」という言葉をご存知でしょうか。以前に比べがんの生命予後は改善し、がん以外の疾患にも注意を払う必要が出てきています。その中でも我々はがんに伴う過凝固状態に着目しています。

## Cancer VTE

がんやその治療において静脈系に血栓を形成することはよく見られる合併症で、Dダイマーが血栓のマーカーとして有用です。下肢静脈エコーや全身造影CTにより診断します。易出血性など鑑み抗凝固療法導入を検討します。



下肢静脈エコーで同定したヒラメ筋内の深部静脈血栓

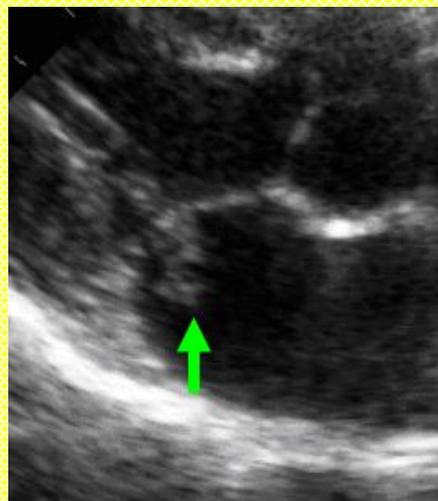
## がん合併脳梗塞

当科での調査#では急性期の連続症例で6%の患者は癌の治療中または既往がありました。加えて3%の患者に新たに癌が発見されました。これは一般集団でのがん検診で発見されるがんが0.1%程度と比べて極めて高率となっています。

#.Uemura J, et al, European Neurol. 2010

がんに伴う過凝固状態を背景に心臓弁に疣贅が付着し全身に塞栓症を来たす非感染性心内膜炎が知られています。

当科では患者さんの状況に応じてヘパリンの皮下注射を含めた抗凝固薬による脳梗塞再発予防を内科主治医とともに行っていきます。脳梗塞を発症させずに癌治療の継続を図っています。



経食道心エコーで同定した大動脈弁に付着した疣贅(矢印)